

プランクトン調査結果のお知らせ

本日、須崎港に着色がみられたとの報告があり、海水の検鏡を行いましたので結果をお知らせします。

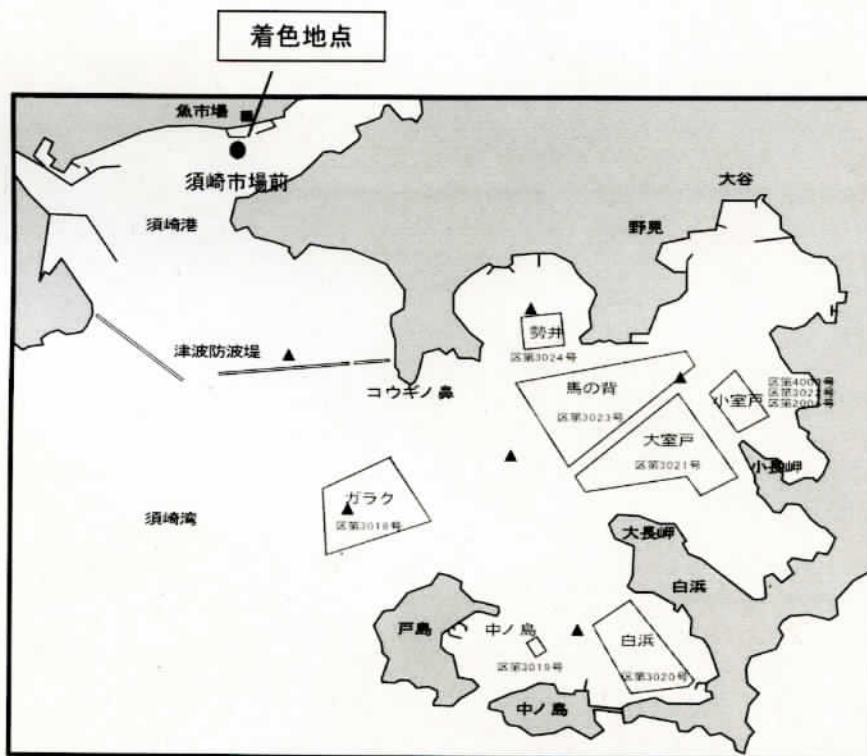
検鏡の結果、魚類に有毒なヘテロシグマ・アカシオと貝毒原因種のアレキサンドリウム属が(表 1)確認されました。

ヘテロシグマ・アカシオは被害が想定される細胞密度になっています。アレキサンドリウム属は1細胞のものも多く、アレキサンドリウム カテナラ(警戒密度500cells/ml:大阪府)かアレキサンドリウム リーエ(警戒密度:知見なし)かは不明です。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表 1 検鏡結果

	ヘテロシグマ・アカシオ	アレキサンドリウム属
市場前(0m)	107,000cells/ml	100cells/ml
ガラク(0m)	1,900cells/ml	41cells/ml



漁業被害が想定される細胞密度
 ・ヘテロシグマ・アカシオ: 10,000~50,000cells/ml(魚類のへい死)
 ・アレキサンドリウム属: 500(カテナラ)~cells/ml(貝の毒化)